

昭和59年度 別府大学英文学会報告

先ずは、学長の「雑学」の弁があり、60年前の学生時代の英独仏の小説の渉獵のこと、幸田露伴大宰治、竹友藻風、西脇順三郎のこと、そして、J. Galsworthy, G. B. Shaw のことなどと止まるところを知らず、最後に、「翻訳でも結構、沢山の書物を」との締め括りであったが、悲しくも、とかく「活字離れ」と評される現代の大学生への頂門の一針であった。

続いて、下記のプログラムで行われ、学外からの多数の参加者の、遠近からのお集りをいただいて、稀にみる盛会裡に、午後四時終了した。

研究発表 司会 武田正則

(1) My Home Stay Experience in America

短期大学部 2年 藤 沢 初 江

(2) Pidgin English について

短期大学部 1年 杉 島 寛 子

同 藤 井 直 子

(3) A Study of Herman Melville's *Billy Budd*

文学部 4年 中 村 徹

(4) *The Old Man and the Sea*

—— Santiago's Manner of Living ——

文学部 4年 植 原 清 光

(5) An Analysis of Preposition and Article Errors

文学部 4年 笠 瀬 やす子

(6) A Study of *Wuthering Heights*

—— Psychological Conflicts ——

文学部 4年 大 村 豊 彦

特別講演 司会 池 永 正

(1) Error Analysis

文学部講師 Frederick W. Ferrasci

(2) History and Geography of Hawaii

短期大学部招聘講師

Diane Pike-Bourne (ハワイ大学)